



# 水稻生産情報

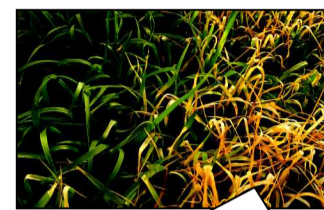


JA つがる 弘前  
弘前中央地区営農係

こまめな水管理で、活着促進・早期茎数確保！

## 1. 水稻生育状況

- ・育苗初期はやや低温で推移しましたが、育苗後半になると平年より気温がかなり高い日があり、その影響で苗の‘焼け’や‘徒長’も散見されましたが、苗の生育は概ね順調に推移しました。
- ・田植え期間中は曇天や強風の日が多く、日照量が少なく推移したため活着遅れが懸念されます。
- ・今後、気温はやや高く、降水量、日照量は平年並みに推移する予報です。



●右側が焼けた苗

天候に合わせたこまめな水管理を行い早期に活着、茎数を確保できるよう努めましょう。

## 2. 中干しまでの水管理

- ・暖かい日：2～3cmの浅水管理
- ・寒い日：5～6cmの深水管理



●活着・分けつ促進のため、水温・地温を上昇させましょう。

## 3. 中干し

- ・1株当たり茎数20本確保したら開始しましょう。
- ・田面に軽く亀裂が入る程度に行いましょう。
- ※生育が遅れている場合や低温時は中止しましょう。
- ※幼穂形成期（7月13日頃）前には必ず終了し、幼穂の保温に努めましょう。



◆中干しの効果とは…

- ・過剰分けつを抑制。
- ・根腐れ等の障害防止。
- ・下位節間の伸長抑制で倒伏防止
- ・地固めで稲刈り等作業効率向上。

## 4. 除草剤

●体系処理（初期剤＋中期剤）の方

薬剤名	使用時期
セカンドショットS ジャンボMX（ジャンボ剤）	移植後14日～、ノビエ3.5葉期まで
レプラス粒剤	移植後14日～、ノビエ4葉期まで
マメットSM粒剤	移植後10日～（5葉期以降）、ノビエ3.5葉期まで

※**青天の霹靂**の方は中期剤は使用できません。  
残草が目立つ場合は、後期剤のバサグラン、クリンチャーを使用しましょう。

●一発処理体系の方

残った雑草	薬剤名	使用時期	散布方法
広葉雑草	バサグラン粒剤	田植え後15日～55日	落水状態（足跡に水がたまる程度）で散布。 10a 当り 3～4 kg 散布。
	バサグラン液剤	田植え後15日～55日	落水状態（足跡に水がたまる程度）で散布。 10a 当り水 70～100ℓ に 500 cc を希釈。
イネ科雑草	クリンチャー1 kg 粒剤	田植え後25日～ （ノビエ5葉期まで）	湛水状態で散布。 10a 当り 1.5 kg 散布
	クリンチャーEW	田植え後20日～ （ノビエ6葉期まで）	湛水又は落水で散布。 <b>展着剤加用</b> 。 10a 当り水 25～100ℓ に 100 cc を希釈。
両方残った場合	クリンチャーバス ME	田植え後15日～ （ノビエ5葉期まで）	落水状態（足跡に水がたまる程度）で散布。 10a 当り水 70～100ℓ に 1000 cc を希釈。

**雑草いろいろ**

●大きくなる前に早めに除草剤を散布しましょう。



コナギ



オモダカ



ホタルイ



クログワイ



ヒエ

## 5. 病虫害防除

※**青天の霹靂**の方は使用できる薬剤が限られます。確認してから散布しましょう。



イネドロオイムシの幼虫と被害



いもち病

カメムシ

●**イネドロオイムシ**

近年、多発する水田が見られます。幼虫や葉の食害が多くみられる場合は、トレボン粉剤を散布しましょう。

●**葉いもち対策**

昨年、7月上中旬の曇雨天の影響により葉いもちが散見されました。昨年多発した水田や毎年発生する水田ではオリブライト（粒剤、豆つぶ剤）を6月下旬に散布しましょう。

●**カメムシ対策**

7月20日頃までこまめに草刈りを行い、カメムシの生息密度を低下させましょう。それ以降は、9月上旬まで草刈りを控えましょう。